

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
108	108	国際交流推進事業	01	01	一般会計
			02	02	総務費
基本施策	55	外国人と交流でき、共生できる地域社会をつくる	01	01	総務管理費
			07	07	文化振興費
担当部課名		伊賀支所総務振興課	102	102	国際交流推進事業
作成者氏名	中島義文	連絡先	45-9111	01	国際交流推進事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	市民及び伊賀市に在住する外国人	外国人との交流を通じて、異なる文化についての関心や理解を深め、多文化共生社会を担う市民が増えます。
本年内容	友好交流関係にある、中国河南省開封市へ訪中団13名を派遣した。 度 会員研修として、国際交流員の講演会を開催した。 事 機関紙を発行し、伊賀支所全市民に配布した。 業 予算360,000円の執行及び精算を行うとともに、いがまち国際交流協会の事務局を担当しました。 内容 また、市内各国際交流協会の1本化に向けて協議を行いました。	
開始年度	平成 9 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等		

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	360	342	315
委託料	360	342	315
その他			
合計(A+B)	1,800	1,782	1,755
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財	360		
一般財源	1,440	1,782	1,755
上記①～③に関する特記事項			
文化振興基金から繰入れ			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
訪中事業	回	1	1	1			
訪日事業(受入れ)	回		1	1			
市内各国際交流協会の1本化	会	6	6	1			
協会会員数	人	63	85	87			
協会事業者数	社	4	4	4			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
国際交流協会会員数	会員への登録が、活動への理解を示す。	人	63 目標 (63)	85	87
協会事業者数	会員への登録が、活動への理解を示す。	社	4 目標 (4)	4	5

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

いがまち国際交流協会は、平成9年12月に設立しました。協会設立以前の平成5年より少年サッカーの交流等で親交のあった中国河南省開封市人民対外友好協会を軸に、開封市の夏理遜小学校と当市西柘植小学校の児童間の交流及び協会会員の希望を募り、文化、スポーツ、教育等の交流活動を年1回程度、相互に訪問しあう中で実施してきました。現在、旧市町村単位で所在している国際交流団体について、運営の合理化を図るため、1団体への統合が検討されています。また、在住外国人との共生をはかる上で、現在、住民自治協議会の国際交流委員会等で交流活動が実施されていますが、連携、協働し取り組んでいくことが必要

評価	必要性	3	組織の統合にあたり、各国際交流協会のこれまでの相手先との関係や経過もあり、友好交流事業を廃止することは難しいと考えます。また、統一後の事務局等の関わり方について検討していく必要があります。	総合評価 C
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		